

井上靖著「孔子」新潮社 1989年9月10日刊を読む

政治の眼目、要諦とは何か

一近き者^{よろこ}説^{なつ}び、遠き者来たる。一近い者が喜び懐き、その噂を聞いて、遠くの者が自然にやっ
て来る。一そのような政治ができれば、それが一番いいのではないのでしょうか。

と、仰言いました。その子のお^{ことば}詞は穏やかで、しかも真心がこもっており、葉公に対する提言
としては、これ以上のものはないのではないか、そのように私たちには受取れました。

葉公は黙って頭を下げ、頭を下げたままで、

一近き者^{よろこ}説^{なつ}び、遠き者来たる。近者説、遠者来。一すばらしい六字の政治論、有難く、忝く、
頂戴いたしましょう。

と、仰言いました。

P94

[コメント]

「政治とは何か」という葉公の質問に対する孔子の答えは、ものごとの本質をついている。近い
者がよろこぶような政治をすればその政治、つまり世の中、社会にあこがれて遠くの人もやっ
てくる。そのものズバリだ。

— 2012年1月3日 林 明夫記 —